

## 4月から本格運行する 十和田市街地循環バス・西地区シャトルバスのデザインが決まりました

アーツ・トワダのグランドオープン10周年に合わせて、アーティストが十和田市街地循環バス・西地区シャトルバスをデザインしました。

### 市街地循環バス

一度見たら忘れられない圧倒的なインパクトと美しさ、そして乗ってみたいと思ってもらえるビジュアルを目指しました。それぞれ違った色を放つ四季折々の花を、月日や季節を紡ぐようにデザインしています。



【イメージ図】

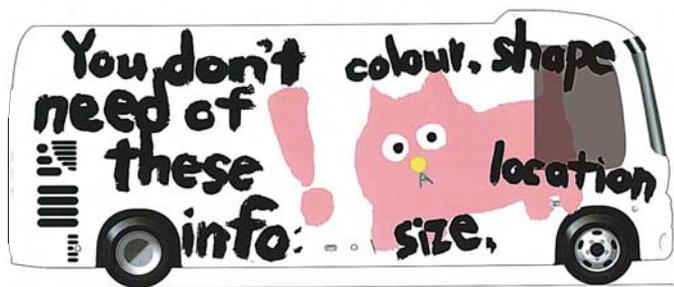


### 蛭川 実花 (にながわ みか)

写真家、映画監督。木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。映画『さくらん』、『ヘルタースケルター』、『Diner ダイナー』、『人間失格 太宰治と3人の女たち』監督。2020年2月27日よりNetflixオリジナルドラマ『FOLLOWERS』が世界190カ国で配信中。個展「蛭川実花展 - 虚構と現実の間に -」が全国の美術館を巡回中。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事就任。

### 市街地循環バス

「ピンクの猫」は作品のコンセプトやスローガンみたいなテキストと合わせて街の中を駆け抜けるながら、インパクトも出しつつ、バスを見て「あれどういう意味?」とか「写真上手く撮れないな」など会話が始まるようなものになってほしいです。



【イメージ図】



### 飯川 雄大 (いかわ たけひろ)

美術家。1981年兵庫県生まれ、同地を拠点に活動。人の認識の不確かさや、社会の中で見逃されがちな事象に注目し、鑑賞者の気付きや能動的な反応を促すようなインスタレーションを制作。2020年7月には、ヨコハマトリエンナーレ2020「Afterglow - 光の破片をつかまえる」と、KAAT神奈川芸術劇場のアトリウム映像プロジェクトに参加予定。

### 西地区シャトルバス

「鳴る色」は「色と音の共感覚」の光景を視覚化したものです。この作品には絵を描くことを通し考え続けてきた、色彩についての発見が描かれています。鳴る色の波紋がバスに乗って外に飛び出し、その飛躍が十和田市の風景や人の心の中に広がっていくことを夢見ています。



【イメージ図】



### 曾谷 朝絵 (そや あさえ)

2006年東京藝術大学大学院にて博士号(美術)取得。絵画とインスタレーションの両面で制作。光と色彩に満ちあふれた作品は観る者の視覚を越えて身体感覚を呼び起こす。2001年「昭和シェル石油現代美術賞展」グランプリ、2002年「VOCA展」VOCA賞(大賞)、2012年「CS Design Award」優秀賞、2013年「神奈川文化賞未来賞」「横浜文化賞文化・芸術奨励賞」ほか数々受賞。

### 市街地循環バス・西地区シャトルバス運行情報

問 政策財政課政策企画係 ☎ 6710

- ・ 3月は運行しませんので、ご注意ください。
- ・ 4月からの運行情報(時刻表・運行経路など)については、広報とわだ4月号に掲載します。
- ・ 3月25日以降に、市役所本館1階総合案内や十和田市中央バス停などにパンフレットを設置します。